

セカンドオピニオン＝最善の治療法を見つけるために

医療が進歩して様々な治療法が生

まれていきます。しかし、医師によって

あなたの病気に対する考え方が違う

ことがあります。また、医師や病院に

よって、医療技術や診療の質に差が

あることも考えられます。あなたに

とつて最善と考えられる治療法を見

つけるため、主治医以外の医師の意

見を聞く、それがセカンドオピニオン

です。

です。

です。

☆セカンドオピニオン費用は、基本

的に全額自己負担です

セカンドオピニオンは「診療」では

なく「相談」になるため、健康保険給

付の対象とはならず、全額自己負担

となります。(但し、患者がセカンドオ

ピニオン目的でなく保険医療機関を

受診して保険証を提示し、一般外来で

の保険診療を希望する場合は、保険

診療の取扱いとなります)また、生活

保護受給者に対しては、医師が必要

と認めない場合は「自費診療」扱いと

なるため、生活保護の医療扶助の対

象外となつてしまい、セカンドオピニ

オンを求めて、別の病院の医師に相談

することが不可能となつていきます。

☆こうしてセカンドオピニオンを得る

1. 必ず、まず主治医に相談する

2. 別の医療機関・医師を探す

通院している医療機関の「医療連

携室」、「がん診療連携拠点病院」の

「相談支援センター」また、「国立がん

研究センター」の「がん情報サービ

ス」のホームページにも、セカンドオ

ピニオンを受けることのできる医療

機関の情報が掲載されています。ま

た、抗がん剤治療、放射線療法、手術

など、治療の選択肢が複数ある場合

は、同じ医療機関の別の部門の医師

に依頼できることもあります。

3. 主治医に紹介状やデータをもつ

主治医に話して他医師への診療情

報提供書を作成してもらう必要があ

ります。意見を求められた医師は、こ

れまでの治療経過や病状の推移を把

握しないことには適切な助言をする

ことが難しいからです。これまでの経

過や検査結果などが記載された「紹

介状」を主治医から受け取ります。

4. セカンドオピニオンを予約する

患者さんが行うのが基本ですが、

家族が代行できる医療機関も多くあ

ります。予約の際は、「受診方法」「診

療時間」「費用」「必要な書類」など

を確認しましょう。

5. セカンドオピニオンを受ける

時間を有効に使うために、聞きた

いことは箇条書きにまとめておいて

ください。また、メモをとりながら受

けるなど、メモを活用しましょう。大

量の情報が提供されるので、できる

だけ家族など信頼できる人に同行し

てもらうのがいいでしょう。

☆セカンドオピニオンを活かし、納

得できる治療を受けるために！

1. セカンドオピニオンで取得した情

報を主治医に持ち帰り、伝えること

が大切です。ファーストオピニオンと

セカンドオピニオンが全く違うこと

もあり得ます。そのような場合、主治

医に伝えづらいものです。しかし、セ

カンドオピニオンを主治医に持ち帰

ることで、ファーストオピニオンを出

した主治医が、セカンドオピニオン

のメリットとデメリットを説明してく

れます。

2 仮にセカンドオピニオンで新しい

治療法が提示された場合には、治療

への新たな判断材料が増えることに

なります。

今後の治療法を選択する場合やセ

カンドオピニオンを求めた医師の治

療を受けたい場合も、必ず主治医に

伝えてください。

患者さんの中には、セカンドオピ

ニオンの話をすると、『主治医の機嫌

を損ねるのでは?』と心配する人も

いますが、セカンドオピニオンを受け

るのは患者さんの当然の権利です。

話をして、医師が不機嫌になるよう

なことは基本的にありませんので、